



公益財団法人 日本対がん協会 「日本対がん協会」と「対がん協会」は登録商標です  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町センタービル(マリオン)13F  
☎(03) 5218-4771 <http://www.jcancer.jp/>

主な  
内容

- 1、2面 2016年度RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞決定  
3面 タバコフリーサミット2017・東京  
4、5、8面 グループ支部がん検診実施状況より

## 2016年度RFLマイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞

テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとシカゴ大学医学部へ

### 喜多久美子さん、西本光孝さん、宮内栄作さんに決定

日本対がん協会は4月24日、東京・千代田区の有楽町朝日スクエアで「リレー・フォー・ライフ(RFL)マイ・オンコロジー・ドリーム(MOD)奨励賞」の2016年度の授賞式を開催した(協力:米テキサス大学MDアンダーソンがんセンター、シカゴ大学、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクト)。



(左から)垣添会長、宮内栄作医師、秋山理事長、西本光孝医師、上野直人教授、喜多久美子医師、ケネス・コエン氏

同賞は日本対がん協会が各地の実行委員会と共に開催しているリレー・フォー・ライフ・ジャパンに寄せられた寄付金をもとに、地域のがん医療の充実を図るために2010年度に設けられた米国における1年間の留学研修プログラム。全米有数のがん専門病院であるテキサス大学MDアンダーソンがんセンター、シカゴ大学の協力と、一般社団法人オンコロジー教育推進プロジェクトの支援の元にこれまで12人の若手医師を米国に送りだしてきた。

今年度の受賞者は聖路加国際病院乳腺外科の喜多久美子医師(36)と、大阪市立大学大学院医学研究科の西本光孝医師(36)、東北大学病院呼吸器内科の

宮内栄作医師(37)の3人。喜多医師と西本医師がMDアンダーソンがんセンターで、宮内医師がシカゴ大学医学部でそれぞれ1年間研修する。

はじめに秋山耿太郎日本対がん協会理事長が3人の受賞を発表し、MDアンダーソンがんセンター・シニアバイスプレジデントのオリバー・ボグラー教授からのビデオメッセージに続いて、MDアンダーソンがんセンター腫瘍内科の上野直人教授と、シカゴ大学医学部血液腫瘍内科のケネス・コエン氏が奨励賞と目録を贈呈し、受賞者が喜びの言葉を述べた。

最後に垣添忠生日本対がん協会会長が、素晴らしい研究環境で貴重な経験

を積んでほしいと受賞者を激励した。

授賞式の後には、日本のがん研究の進展に向けた日米医学交流の重要性、臨床試験を推進するがん専門医の育成プログラムに関する特別講演が行われた。

はじめに、上野直人教授が「がん臨床バイオロジストの育成のための腫瘍内科プログラムの必要性」と題

して講演した。上野教授は「必ずしも直接患者に関わる医師であり続ける必要はない。製薬会社に入ることでも医療全体のレベルを上げることもできる。本当の挑戦は、日本に帰ってきてから。患者中心のがん医療を実現するため、将来のリーダーになってほしい」と思いを語った。

次に、ケネス・コエン氏が「がん研究開発のための国際研修プログラムの実施」と題して、シカゴ大学の紹介や、シカゴ大学医学部での教育プログラムについて話した。

会場には、がんの臨床研究に携わる医師や研究者、RFL関係者など約40人が集まった。

**がん相談ホットライン** 祝日を除く毎日  
03-3562-7830

日本対がん協会は、がんに関する不安、日々の生活での悩みなどの相談(無料、電話代は別)に、看護師や社会福祉士が電話で応じる「がん相談ホットライン」(☎03-3562-7830)を開設しています。祝日を除いて毎日午前10時から午後6時まで受け付けています。相談時間は1人20分まで。予約は不要です。

**医師による面接・電話相談(要予約)**  
予約専用 03-3562-8015

日本対がん協会は、専門医による面接相談および電話相談(ともに無料)を受け付けています。いずれも予約制で、予約・問い合わせは月曜から金曜の午前10時から午後5時までに☎03-3562-8015へ。相談の時間は電話が1人20分、面接は1人30分(診療ではありません)。詳しくはホームページ(<http://www.jcancer.jp/>)をご覧ください。

# MOD奨励賞受賞者の言葉 「私が成し遂げたいこと」



## 乳がんの転移および治療抵抗性を研究し、根治を望める治療につなげたい

聖路加国際病院乳腺外科 喜多 久美子



この度、このような素晴らしい賞を頂き、大変嬉しく光栄に感じております。

私はこれまで乳腺外科・消化器外科を中心に外科のトレーニングを積み、現在は乳腺専門医として臨床診療に携わっています。臨床医として13年目になりますが、日々の診療の中で疑問が生じたり、患

者さんが抱える悩みを知ったりすることで、がん治療に対して様々な思いを持つようになりました。それらの解決につながる研究をしたいという思いが年々強くなり、5年前に横浜市立大学の大学院生としてがんの基礎研究、トランスレーショナル研究に携わる機会を得ました。研究の意義と楽しさに触れるとともに、さらに研究を深めたい、自ら研究を立案して進めていけるようになりたいという気持ちに駆られるようになり、研究留学を志願するに

至りました。

今回の受賞は、夢の第一歩として非常にありがたく感じています。この機会を最大限に生かして、がん研究の第一線で学び、帰国後はそれを出来る限り還元していきたいと思っています。

また、リレー・フォー・ライフに代表されるようなサバイバーシップ活動についても本場の米国で体験し、日本でも継続していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくご厚意申し上げます。

## より安全で、より効果的な同種造血幹細胞移植治療を確立したい

大阪市立大学大学院医学研究科 西本 光孝



このたびはこのようすばらしい賞を受賞でき、大変うれしく思いますとともに、身の引き締まる思いであります。

私は血液内科医として、特に同種造血幹細胞移植治療に従事してきました。白血病をはじめとした血液悪性腫瘍の多くは進行が早く、化学療法

に抵抗性があることもしばしばあります。そういった難治性の血液疾患に対して、根治を目指した治療法として同種造血幹細胞移植が行われていますが、治療による重篤な合併症によって、命を落としてしまう方が20-30%にもものぼる非常にリスクの高い治療です。また、急性期の合併症をうまく乗り切っても、慢性の合併症によりQOLが著しく低下してしまったり、原病が再発してしまったりする患者さ

んも多く経験してきました。まだまだ発展途上の治療法と言わざるを得ないと思います。

このたび、世界でも有数の移植施設であるテキサス大学MDアンダーソンがんセンターで研修、研究する機会を与えていただきました。米国で多くを学び、より安全で、より効果的な同種造血幹細胞移植治療の確立のために貢献できるようにがんばってきたいと思っています。

## 進行肺がんの根治を目指し、より手厚いがん医療を提供したい

東北大学病院呼吸器内科 宮内 栄作



この度はMOD奨励賞を受賞させていただくことになり、シカゴ大学医学部で学ぶ機会を得られたことを大変嬉しく思います。

この奨励賞がリレー・フォー・ライフに関わるたくさんの方々の期待と支援の基に成り立っていることを改めて感じ、身が引き締まる思いです。

私は呼吸器内科医で、特に肺がんの臨床研究・基礎研究をライフワークにしています。肺がんはあらゆるがん種の中で最も予後不良な疾患であり、とくに進行肺がんの患者さんの予後は決して良いとは言えない現実があります。しかし、医学は目まぐるしく日々進歩しています。進行肺がんの患者さんでも根治を目指し、がんになっても不安を感じることなく生活ができるように支援していくことが私の夢です。

そして肺がん診療に関わる仲間を増

やし、より手厚いがん医療を患者さんに提供できるようにすることがもう一つの夢であります。

皆様の支援でいただいた留学の機会を十分に生かし、米国での肺がんの基礎研究、橋渡し研究、臨床研究の現場を経験し、帰国後にあらゆる形で皆様に還元できればと考えています。皆様の期待に沿えるよう、米国で沢山のことを学び、経験をしていきたいと思っています。

# 5月27日 参加者募集中

## 『タバコフリーサミット2017・東京』開催

日本対がん協会は5月31日の世界禁煙デーを控えた5月27日に、厚生労働省、東京都医師会とともにタバコフリーサミット2017・東京を開催します。大会長を尾崎治夫東京都医師会会長、実行委員長を望月友美子日本対がん協会参事が務めます。

午前と午後の2部構成に分け、シンポジウム「タバコフリーオリンピックをめざして。」や、「みんなでタバコフリー社会へ。」と銘打ったさまざまなプレゼンテーション、WHOからのメッセージなど盛りだくさんな内容です。また、禁煙推進に功労のあった個人・団体を顕彰する「平山雄記念・タバコフリー日本賞」や、「タバコフリー社会賞」の授賞式も行います。

2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向けて今までになく、日本

の禁煙環境を整備する機運が盛り上がっている今、ぜひサミットへご参加下さい。先着300人（参加費無料）。

参加申し込み：以下で受付中。

[www.tobaccofreesummit.tokyo](http://www.tobaccofreesummit.tokyo)

### タバコフリーサミット2017・東京

日時 5月27日(土) 10:00~18:00

場所 東京都医師会館 東京都千代田区神田駿河台2丁目5-1

第1部 10:00~12:00 「第17回全国禁煙推進研究会」

第2部 13:00~18:00 特別企画「東京の空気が一番、おいしくなる日。」

第1部主催 厚生労働省、東京都医師会、日本対がん協会

第2部主催 東京都医師会／共催 日本対がん協会、タバコ問題首都圏協議会(MASH)、東京/日本橋禁煙推進研究会

お問い合わせ先 タバコフリーサミット事務局

電話：03-5530-9025（平日10:00~17:00）

メール：info@tobaccofreesummit.tokyo

## がん治療と仕事の両立「困難な環境」64.5%

### 内閣府「がん対策に関する世論調査」

内閣府が1月28日に発表した平成28年度「がん対策に関する世論調査」によると、「がん治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられる環境だと思いますか」という問いに、「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人の割合が64.5%に上った。前回

調査の平成26年11月の65.7%からほとんど改善されていないことがわかった。

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた人に、その理由を聞くと、「代わりに仕事をする人がいない、またはいても頼みにくいから」が21.7%、「職場が休むことを許し

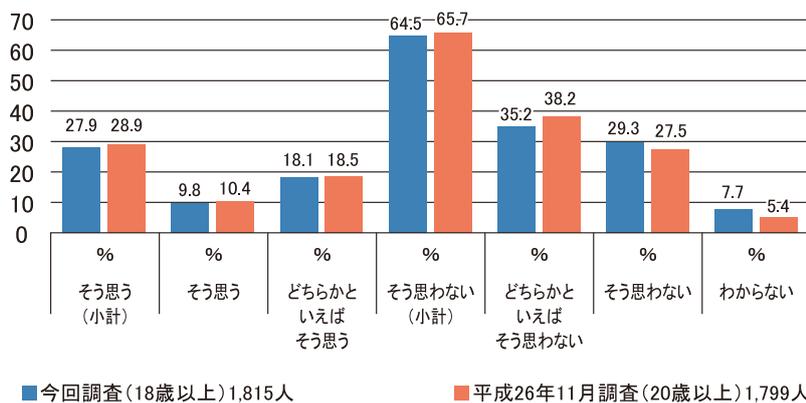
てくれるかどうか分からないから」が21.3%、「がんの治療・検査と仕事の両立が体力的に困難だから」19.9%と続く。

一方、両立に必要な取り組みについては、1位が「病気と治療や通院のために短時間勤務が活用できること」で52.6%、次いで「1時間単位の休暇が取れるなど柔軟な休暇制度」46.0%、「在宅勤務を取り入れること」38.6%など、やはり柔軟な働き方や制度を求める意見が多かった。

がん検診の受診状況については、「2年以内に受診した」の割合が52.6%だったが、「今までがん検診を受けたことはない」も33.4%だった。がん検診を受けていない理由の一番は、「受ける時間がないから」30.6%で、次いで「健康状態に自信があり、必要性を感じないから」が29.2%だった。調査は昨年11月に全国18歳以上の男女3千人を対象に実施し、有効回収率は60.5%だった。

### 仕事と治療等の両立について

※日本の社会は通院しながら働き続けられる環境と思うかについて聞いた質問に対して



平成29年1月内閣府「がん対策に関する世論調査」より作成

2015年度 がん検診の実施状況

# 検診受診者は延べ1174万3259人 前年度より15万人増 3年連続増加

## 年代別集計はさらに細かく

日本対がん協会は、グループ支部の協力を得て、支部が実施した2015年度のがん検診(胃、子宮頸、乳、肺、大腸、子宮体、甲状腺、前立腺、肝胆膵腎の9種類)の実施状況をまとめた。46支部のうち、がん検診を実施している42支部の実施状況の集計で、2015年度のがん検診受診者数は延べ1174万3259人で、前年度より15万0874人の増加となった。増加は3年連続で、増加率は1.3%だった。

受診者が増えたのは、乳がん、大腸がん、前立腺がんの各検診。中でも大腸がん検診は11万7694人(増加率

4.7%)、乳がん検診は4万8122人(同3.9%)増えていた。前立腺がんも1万2642人増えて、43万6493人となった。

一方、胃がん検診の受診者は、前年度より6429人減って236万1881人。受診者数の長期減少傾向が続いた。子宮頸がん検診も1857人減って131万4190人、昨年大幅に増加した肺がんも1万1463人減少しており、今回の集計で最も減少幅が大きかった。

発見したがんは1万4290人で、前年度より602人、4.4%増えていた。特に増加が目立ったのは大腸がんで、前年度より341人増えて4225人になった

(増加率8.8%)。乳がんも125人増えて3114人になった。いずれも受診者数の増えた検診で、受診者像ががん発見の増加につながるという妥当な結果となった。

発見数が減ったのは、胃がんと肺がんの2つの検診。胃がんは前年度より28人減って3045人(内視鏡検査を含む)、子宮頸がん、子宮体がん、甲状腺がん、肝胆膵がんはいずれも受診者数は減ったものの、発見がん数は増えていた。

### 年代別集計をより細かく

昨年から初めて年代別の受診者数と要精検者数、精検受診者数、発見がん数のデータも集計に加えたが、今年度は年齢階級区分をより細かく、「70-74歳」「75-79歳」「80歳以上」とした。今後超高齢化に進む社会を反映し、検診受診者における超高齢者の増加が顕著になり、高齢者のがん検診のあり方が問われる時代が来ると予想されるからだ。集計をもとに、対がん協会内でも高齢者へのがん検診をいかに提供していくか、方向性を示すために議論を進めていく。

	実施団体数	受診者数		前年度比	がん発見数	がん発見率
		①	②			
胃がん※	42	①	2,361,881	-6,429	3,045	0.13%
		②	2,321,500	-8,891	3,012	0.13%
	42	①	2,368,310	-	3,073	0.13%
		②	2,330,391	-	3,040	0.13%
子宮頸がん	42	1,314,190		-1,857	192	0.01%
	42	1,316,047			172	0.01%
乳がん	42	1,290,120		48,122	3,114	0.24%
	42	1,241,998			2,989	0.24%
肺がん	42	3,353,692		-11,463	1,559	0.05%
	42	3,365,155			1,599	0.05%
大腸がん	42	2,608,621		117,694	4,225	0.16%
	42	2,490,927			3,884	0.16%
子宮体がん	13	23,827		-3,069	39	0.16%
	18	26,896			36	0.13%
甲状腺がん	7	27,477		-997	14	0.05%
	8	28,474			5	0.02%
前立腺がん	35	436,493		12,642	1,922	0.44%
	32	423,851			1,763	0.42%
肝胆膵腎がん	21	326,958		-3,769	180	0.06%
	22	330,727			167	0.05%
合計		①	11,743,259	150,874	14,290	-
		②	11,702,878	148,412	14,257	-
		①	11,592,385	-	13,688	-
		②	11,554,466	-	13,655	-

日本対がん協会支部のがん検診の実施状況(上段が2015年度、下段が2014年度)  
 ※「胃がん」と「合計」の上段・①にはX線検査と内視鏡検査を合わせた数値を、  
 下段・②にはX線検査のみの数値を掲載している。

### ■受診状況(胃がん)

(X線検査+内視鏡検査、2014年度との比較)

		2015年度	2014年度
受診者数		2,361,881	2,368,310
要精検者数		159,689	170,627
精検受診者数		129,052	133,232
検査の結果	がん	3,045	3,068
	がん疑い	256	250
	がん以外の疾患	103,607	103,418
	異常なし	20,241	21,737
その他		3,962	4,846
要精検率		6.76%	7.20%
精検受診率		80.81%	78.08%
がん発見率		0.13%	0.13%
陽性反応的中度		1.91%	1.80%

2015年度 がん検診の実施状況

5つのがん検診(胃、子宮頸、乳、肺、大腸)

受診者前年度より14万6067人増加

精検受診率は5部位とも上昇、大腸がん検診の精検受診率の低さが課題

国が指針を設けて受診を勧める5つのがん検診(胃、子宮頸、乳、肺、大腸)について、日本対がん協会グループ支部の状況を概説する。

2015年度の受診者数は延べ1092万8504人で、前年度より14万6067人増加した。各がん検診の受診者数や発見がん数は表のとおり。2015年度は5つのがん検診すべてで精検受診率が前年度より上昇した。ただし、胃、肺、乳、子宮頸の各がん検診では精度管理指標の許容値(胃、肺、子宮頸の3つのがん検診では70%、乳がん検診は80%)

%)を超えていたが、大腸がん検診では、許容値の70%をわずかに下回っていた。

前年度は肺がんを除く4つのがん検診で精検受診率が下がっている点があったが、15年度は胃、肺、乳、大腸の4つのがん検診で13年度より高く、前年の落ち込みを挽回した形だ。

15年度の精検受診率を部位ごとに見ると、胃がん検診では80.81%、前年度より2.73ポイント増、乳がん検診も88.94%と同1.8ポイント増えていた。子宮頸がん検診は81.14%で同

1.42ポイント、肺がん検診は78.46%で同0.76ポイントそれぞれ増え、大腸がん検診も1.62ポイント増の69.39%だった。従来から比較的高かった乳がん検診は、2016年度も1ポイントあまり増えるようだと言われている。精密検査はがん発見に欠かせない。スクリーニングでふるい分けしても、精密検査を受けなければ検診を受ける意味が失われてしまう。国のがん対策推進協議会でも、精検受診率の目標値を90%に設定することが検討されている。「がん発見のチャンス」を逃さないためには、対がん協会グループ全体でも一層の精検受診率の上昇による精度管理のさらなる拡充が重要だ。

厚労省の指針が改訂された昨年度以降の検診実施状況が今後まとまってくる。中でも検診対象が従来の40歳から50歳に引き上げられ、検診間隔が1年から2年に延長された胃がん検診については、今後の継続的な検証がかかせない。胃内視鏡検査を導入したことにより、今後内視鏡検査を採用する自治体が増えることも予想される。ただ、受診者数が減り続けていることが胃がん検診の最大の課題なので、内視鏡検査への対応もさることながら、受診者の拡大を図ることが以前にもまして重要になっていると言えよう。

5つのがんの集計結果については協会報でも順次掲載していく。「2016年度版・がん検診年次報告書」についてのお問い合わせは電話03-5218-4771(がん検診研究グループ・小西)まで。

5つのがん検診実施状況

上段が2015年度、下段は2014年度の数値

	受診者数	前年度比	要精検率	精検受診率	がん発見数	がん発見率	
胃がん※	①	2,361,881	-6,429	6.76%	80.81%	3,045	0.13%
	②	2,321,500	-8,891	6.83%	80.83%	3,012	0.13%
	①	2,368,310	-	7.20%	78.08%	3,073	0.13%
	②	2,330,391	-	7.27%	78.11%	3,040	0.13%
子宮頸がん	1,314,190	-1,857	1.41%	81.14%	192	0.01%	
	1,316,047		1.58%	79.72%	172	0.01%	
乳がん	1,290,120	48,122	5.07%	88.94%	3,114	0.24%	
	1,241,998		5.36%	87.14%	2,989	0.24%	
肺がん	3,353,692	-11,463	2.06%	78.46%	1,559	0.05%	
	3,365,155		2.08%	77.70%	1,599	0.05%	
大腸がん	2,608,621	117,694	6.22%	69.39%	4,225	0.16%	
	2,490,927		6.21%	67.77%	3,884	0.16%	
合計	①	10,928,504	146,067	-	-	12,135	-
	②	10,888,123	143,605	-	-	12,102	-
	①	10,782,437	-	-	-	11,717	-
	②	10,744,518	-	-	-	11,684	-

※「胃がん」と「合計」の上段・①にはX線検査と内視鏡検査を合わせた数値を、下段・②にはX線検査のみの数値を掲載している。

■検査別の比較(胃がん 男女合計)

■X線検査

	2015年度	2014年度
受診者数	2,321,500	2,330,391
要精検率	6.83%	7.27%
精検受診率	80.83%	78.11%
がん発見率	0.13%	0.13%
陽性反応的中度	1.90%	1.79%

■内視鏡検査

	2015年度	2014年度
受診者数	40,381	37,919
要精検率	2.97%	3.21%
精検受診率	78.68%	74.79%
がん発見率	0.08%	0.09%
陽性反応的中度	2.75%	2.71%

## Topics

## 6月スタート「がんと就労 電話相談」

社会保険労務士が月に2回、がんと就労に関する相談に応じます

5月1日から予約受付開始

日本対がん協会は6月にスタートする「がんサバイバー・クラブ」の活動の一環として、新たに社会保険労務士による就労についての



近藤明美氏

電話相談を開始します。

働いている人ががんと診断された時、まず頭に浮かぶのは「仕事をどうしよう」ということではないでしょうか。自身もがん経験者でがん患者の就労相談に応じた経験の豊富な特定社会保険労務士・キャリアコンサルタントの近藤明美氏が予約制で電話相談に応じます。ぜひご活用下さい。

## 相談日

6月8日(10:00~12:10)

6月20日(14:00~16:10)

相談時間は1人40分 相談料は無料です(通話料はご負担ください)。

## 予約方法

予約受付電話(03-3562-8009) ※月曜~金曜 10:00~17:00受付  
相談月の前月1日より、予約制(先着順)でお受けしています。

予約の際に氏名、連絡先、どのような相談内容かを事前にお聞きます。

## 相談例

- ・がんと診断されました、上司や同僚にどう伝えたらいいでしょうか?
- ・傷病手当金の申請方法がわかりません
- ・現在求職活動中ですが、面接の際、がん治療のために前職を退職したと伝えるべきか悩んでいます など

※ 7月以降の相談日や詳しい内容はがんサバイバー・クラブ専用サイト

<https://www.gsclub.jp/>をご覧ください。

## お問い合わせ

電話 03-5218-4771 (大石)

~あなたのデザイン、そして言葉が「命」を守ります~

## 「第13回ピンクリボンデザイン大賞」作品募集スタート

ピンクリボンフェスティバル運営委員会(日本対がん協会、朝日新聞社ほか)は、ピンクリボンデザイン大賞の作品募集を、母の日の5月14日(日)か

ら開始します。乳がんの早期発見の大切さを伝え、検診受診を呼びかけるポスターデザインとコピーを募集します。

ポスター部門グランプリ受賞者には賞金50万円を贈呈し、ポスター化して交通広告として掲示します。また、コピー部門グランプリ受賞者には賞金10万円を贈呈し、次年度以降のポスター部門課題コピーなどで活用します。

## 第13回ピンクリボンデザイン大賞 概要

【募集期間】 5月14日(日)~7月2日(日)

【募集内容】 乳がんの正しい知識や早期発見の大切さを伝え、検診受診を呼びかける作品

## 【募集部門】

- ・ポスターデザイン部門 A/B  
A:「心配性って、ほめことば。」(第12回「コピー部門」入選作品)  
上記コピーを使用した受診を促すポスターデザイン  
B:「日常生活」をテーマとした受診を促すポスターデザイン
- ・コピー部門  
「キャッチフレーズ」もしくは「キャッチフレーズ+ボディコピー」  
受診を言葉の力で呼びかけてください

## 【応募方法】

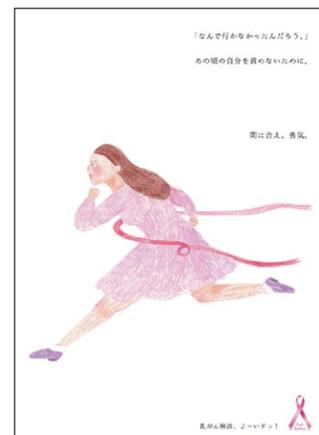
ピンクリボンフェスティバル公式サイト(<http://www.pinkribbonfestival.jp/>)のデザイン大賞のページからご応募ください。

※応募の詳細・規定もご確認いただけます。

【特別協賛】 キリンビバレッジバリューベンダー(株)、富国生命保険(相)

【主催】 ピンクリボンフェスティバル運営委員会  
(日本対がん協会、朝日新聞社ほか)

【後援】 厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本癌治療学会、東京都



第12回ポスター部門グランプリ作品

## Topics

## 1日30本以上の喫煙の男性 白血病リスク2倍に

国立がん研究センターなどの研究チーム

たばこを1日30本以上吸う男性は、吸わない男性に比べ急性骨髄性白血病になるリスクが2.2倍になるとの大規模な調査研究結果を、国立がん研究センターなどの研究チームがまとめ、専門誌に発表した。

海外の研究では同様の研究結果が報告されていたが、日本人については、はっきりしていなかった。

研究チームは、岩手や秋田など10府県の40～69歳の男女約9万7千人を対象に、生活習慣や健康状態を2012年までの平均18年間追跡調査し

た。この期間中に、90人が急性骨髄性白血病を、47人がほかのタイプの白血病(急性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病)を発症していたことを確認。年齢や性別、居住地などに偏りが出ないように調整して、これらの白血病の発症リスクと喫煙との関連を検討した。

その結果、男性では、1日30本以上たばこを吸うグループが、たばこを吸わないグループに比べて、急性骨髄性白血病になるリスクが2.2倍高くなっていることがわかった。

女性については、喫煙者や発症者の人数が少なく、関連ははっきりしなかった。

海外の研究では、喫煙が急性骨髄性白血病のリスクを上昇させることが示され、たばこに含まれるベンゼンの影響が指摘されていた。今回の研究結果から、研究チームでは、「喫煙が急性骨髄性白血病のリスクを上昇させるといふ国際的な評価が日本人にもあてはまることが分かった」として、「急性骨髄性白血病の予防においても禁煙が重要」と指摘している。

## サポーター企業訪問

## 高島屋

百貨店の株式会社高島屋をお訪ねしました。同社は1975年から継続して日本対がん協会を支援し、現在はオリジナルピンクリボンバッジの売り上げなどを中心に寄付をされています。同社CSR推進室CSR推進担当次長の舟竹以久代氏に同社の取り組みをお聞きしました。

## ——2006年からピンクリボンキャンペーンを始めたきっかけは

従業員もお客様も女性が多い百貨店ですので、女性の健康を切り口として新たな啓発キャンペーンを行いたいという思いがありました。オリジナルピンクリボンバッジを制作・販売して売上金の一部を寄付するほか、ピンクリボンケーキやPB商品の企画・販売をしたり、レストランフロアで柱にポスターを掲示したり、ランジェリーメーカーと組んで売り場で乳がんセミナーを実施したりとこれまでさまざまな取り

組みを行ってきました。新宿店では医療機器メーカーと共にマンモグラフィ検診車の見学会も開催しました。

## ——各店舗でも活動されています

京都店では和柄のオリジナルピンクリボンバッグを企画・販売して好評でした。岐阜店や玉川店など、医師を招いてミニセミナーを開催した店舗もあります。

## ——従業員向けにはどのような啓発活動をしているのですか

ここ数年の婦人科検診の受診率はおおよそ50%となっており、より一層の向上を目指して検診受診を呼びかけています。社員食堂の啓発メニューの企画や、乳がん・子宮頸がんの検診を無料(健保組合が費用負担)で受けられる検診機関の一覧表を配布しています。本年度からは前年度に未受診の方に対して個別に受診をお勧めする案内の自宅郵送を開始します。また、多くの百貨店の店舗では職場の近くに検診車にきてもらって、従業員が手軽に検診を受けられるようしています。

## ——カタログギフトの中の寄付先団体の中にも当協会を選んでいただいています

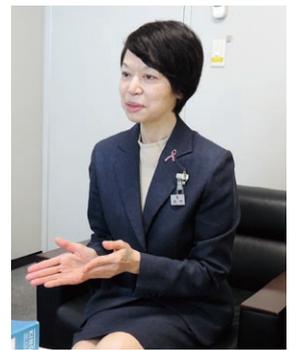
お客様からの「寄付をしたいけれど、どの団体が良いかわからない」という声があり、カタログギフトの中に

「寄付をする」という項目を設けました。お客様の信頼を裏切るわけにはいきませんので寄付団体選びは重要で

す。対がん協会については「公平・中立・組織がしっかりしている」点を評価しました。

## ——ピンクリボン活動に対するお客様の反応はいかがですか

沢山のお客様が賛同してくれています。数年前から毎年100個ずつバッジを買って下さっている年配の男性もいます。奥様が乳がんで亡くされたのをきっかけに、身近な方に配られているようです。また、温泉旅館のおかみさんから地域でピンクリボン活動を行うためバッジを購入したいという相談がある等、さまざまな反響をいただいています。これからの百貨店の在り方として、お店の立地する街づくりにも貢献していくという方針がありますので、自治体とも連携して、周年などのタイミングを計りながら活動の幅を広げて行きたいと考えています。



舟竹以久代氏



お客様向けの店内ポスター

## 2015年度グループ支部 がん検診の実施状況から ◇胃がん

### ■支部別受診状況～X線検査・内視鏡検査の合計：男女合計

支部名	受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検受診者数 (C)	精検の結果					精検不要の人数 (E)	がん発見率 (D/A)	陽性反応 的中度 (D/B)
				がん(D)	がん疑い	がん以外の疾患	異常なし	その他			
北海道	116,739	5,450	4,826	155	11	4,320	340	0	111,289	0.13%	2.84%
青森	85,571	8,167	6,852	85	44	5,708	837	178	77,404	0.10%	1.04%
岩手	116,106	5,500	4,844	138	0	3,881	813	12	110,606	0.12%	2.51%
宮城	181,393	10,387	9,650	314	0	8,299	1,010	27	171,006	0.17%	3.02%
秋田	45,553	3,703	2,862	49	2	1,407	1,394	10	41,850	0.11%	1.32%
山形	103,137	8,723	7,187	103	21	5,092	1,989	0	94,414	0.10%	1.18%
福島	89,485	5,374	4,169	87	3	5,023	820	76	84,111	0.10%	1.62%
茨城	90,977	7,824	6,307	93	13	5,811	390	0	83,153	0.10%	1.19%
栃木	52,063	4,911	4,116	75	21	3,518	466	0	47,152	0.14%	1.53%
群馬	40,451	3,409	2,996	67	8	2,508	293	5	37,042	0.17%	1.97%
埼玉	41,792	2,669	2,178	44	9	1,767	350	8	39,123	0.11%	1.65%
千葉	147,810	9,606	7,249	145	2	6,515	587	0	138,204	0.10%	1.51%
新潟	153,887	9,585	8,638	556	19	3,080	2,459	2,811	144,302	0.36%	5.80%
山梨	13,916	1,221	956	10	4	830	112	0	12,695	0.07%	0.82%
長野	59,907	5,673	4,371	59	0	3,509	785	18	54,234	0.10%	1.04%
富山	42,171	2,833	2,321	48	3	2,057	176	9	39,338	0.11%	1.69%
石川	28,340	3,007	2,479	42	1	2,093	287	58	25,333	0.15%	1.40%
福井	30,433	2,381	1,894	41	3	1,578	272	0	28,052	0.13%	1.72%
愛知	22,236	1,369	942	16	0	702	166	60	20,867	0.07%	1.17%
三重	17,298	939	730	13	1	353	229	134	16,359	0.08%	1.38%
滋賀	14,948	1,169	1,047	32	3	948	64	0	13,779	0.21%	2.74%
京都	54,563	3,628	1,677	49	7	1,476	126	19	50,935	0.09%	1.35%
兵庫	86,318	3,688	2,460	66	2	1,900	478	0	82,630	0.08%	1.79%
奈良	7,650	565	423	10	0	402	9	2	7,085	0.13%	1.77%
和歌山	20,442	1,748	847	6	0	673	142	25	18,694	0.03%	0.34%
鳥取	30,096	1,872	1,359	24	1	1,048	286	0	28,224	0.08%	1.28%
島根	41,055	2,489	1,651	43	10	1,343	252	3	38,566	0.10%	1.73%
岡山	31,611	2,306	1,621	34	2	1,345	112	128	29,305	0.11%	1.47%
広島	23,714	1,332	1,066	34	0	910	113	9	22,382	0.14%	2.55%
山口	31,104	2,802	1,311	14	0	1,162	135	0	28,302	0.05%	0.50%
徳島	28,675	2,153	1,758	41	11	1,574	107	25	26,522	0.14%	1.90%
香川	29,924	1,990	1,905	63	2	1,705	129	6	27,934	0.21%	3.17%
愛媛	52,481	3,104	2,596	45	14	2,189	411	7	49,377	0.09%	1.45%
高知	63,981	2,342	1,989	57	5	772	1,155	0	61,639	0.09%	2.43%
福岡	83,493	4,674	3,594	93	4	2,927	460	110	78,819	0.11%	1.99%
佐賀	25,100	2,857	2,442	66	14	1,935	459	2	22,243	0.26%	2.31%
長崎	28,071	1,967	1,704	30	0	1,355	314	5	26,104	0.11%	1.53%
熊本	50,186	1,929	1,546	38	2	1,316	190	0	48,257	0.08%	1.97%
大分	19,366	2,381	2,136	20	6	1,851	259	0	16,985	0.10%	0.84%
宮崎	34,798	1,927	1,639	28	2	1,120	432	57	32,871	0.08%	1.45%
鹿児島	93,244	8,845	7,943	103	5	7,088	733	14	84,399	0.11%	1.16%
沖縄	31,796	1,190	771	9	1	517	100	144	30,606	0.03%	0.76%
合計	2,361,881	159,689	129,052	3,045	256	103,607	20,241	3,962	2,202,192	0.13%	1.91%